

MfG_J_サフラン庭園結界の図

MfG_J_Kekkai_in_Kina-saffron_shu_brewery_PPT

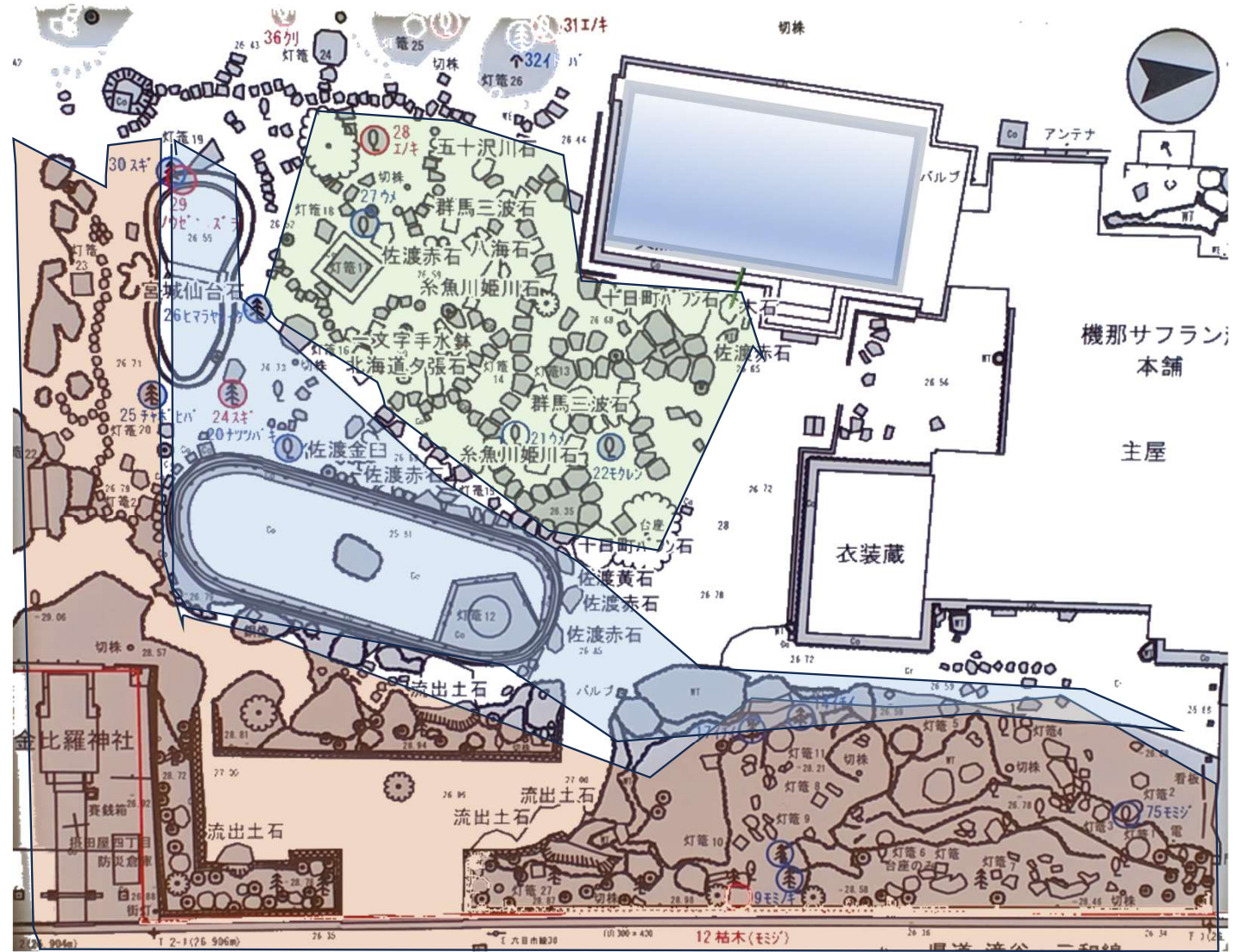


サフラン庭園結界の図

July, 2024 by Kasuga

_サフラン庭園に配置された結界

- (1) 溶岩の築山、赤玉石など奇岩による結界
- (2) 池の水面、モミノキの列を含めた結界
- (3) 露地に見立てた踏み石、蹲などによる結界
- (4) 離れ座敷のガラス窓の膨大な数の
猪の目による結界



パワースポット (今までの考え)

自然のエネルギー、生命力への畏敬

人間の大いなる営み

神仏への祈り、感謝

魔除けへの祈り

～ しかし、統一感に欠ける

残る疑問点の
いくつか

十二支は、何のため。
池は、何のため。
モミノキは、何のため。

結界

- ① 溶岩は、正門を囲った境界
- ② モミノキはご神木、金比羅宮
- ③ 池は、功德水で、聖域への入口
- ④ 蹲も、茶室の結界のひとつ
- ⑤ 十二支は、薬師如来を守護し、戒壇に
結界を張る十二神将と関連

単純化すると...

薬種・薬師如来

結界

鬼瓦

登り龍と降り龍

滝を昇る鯉、幼い鳥、寅で将来の成功を祈願

四方の守護神、四霊獣 十二支 招福・魔除け

人々の安寧、五穀豊穰、商売繁盛、そして
子孫繁栄への感謝と祈り

表現
対象

主屋を含む屋敷の全体

衣装蔵と鰻絵蔵の連続性

庭園、離れ

主屋、衣装蔵、鰻絵蔵

比喻

招福、魔除け 感謝と祈り

日々の安寧、商売繁盛、子孫繁栄

結界

龍 四霊獣 十二支

地域の人々、自家、お客・商売関係者の安穩

背景

仏教

神さま

薬師如来

昇り龍・降り龍

十二神将

結界

結界は元来仏教用語 ～結ばれた界

結界を張るとは、空間を内と外に分類し、
内を聖なる空間、外を俗なる空間と見なす行為

転じて、エネルギーを保持した神秘空間としての
の界

② モミノキはご神木、金比羅宮

神木ランキング

1位:杉	5位:ヒノキ類
2位:クスノキ類	6位:シイ類
3位:イチヨウ	7位:松類
4位:ケヤキ	8位:サカキ

西日本以外では、モミノキも多い。
諏訪神社のご神木の御柱に
使用される木が、「もみの木」。

諏訪神社のご神木 モミノキの御柱

御柱の樹齢は150年以上、長さ約17m、
直径1m余り、重さ約10トンの巨木。

諏訪大社は、上社本宮、上社前宮、
下社春宮、下社秋宮の計4ヵ所のお宮、
それぞれ四方に御柱を建てるので、
4宮×4本＝16本の御柱。

モミノキの「精気」にて結界を張り、神を守り、
五穀豊穰を祈願すると、されている。

機那サフラン酒の庭園の中心にモミノキ



③ 池は、功德水で、聖域への入口

～ 寺院の門前の川と橋も、結界のひとつ

・薬師寺の猿沢池、宇治平等院の池

・浄土真宗本願寺派で云えば、

京都の本山は、堀川に面し、

蓮如さんの山科別院も、小川に懸かる橋を
渡って入山する形。

与板の新潟別院は、黒川(現、旧黒川)、

上越の国府別院は、広い池に面する。

神様への気持ち

摂田屋移転に先立ち、竹駒稻荷の勧請。

敷地に隣接して金刀比羅宮。

定明の八幡神社への再三の高額寄進。

機那サフラン酒の
主屋には、複数の
大きな神棚。



④ 蹲も、茶室と外との結界のひとつ

日本建築の襖、障子、戸も、
「界」を隔てるもの。
その極め付きが「衝立」
ではないでしょうか。



⑤ 十二支は、薬師如来を守護し、戒壇に
結界を張る十二神将と関連

薬師如来を守護する双龍と、十二神将。
十二神将は、薬師の分身、それぞれが
七千の眷属を率いて、結界を張る。

双龍は菩薩。

登り龍は、浄土にある悟り、幸せの宝珠を求め、懸命に修行する菩薩。

降り龍は、求めていた宝珠を得て、地上のありとあらゆる生命を救済するため、地上に戻る菩薩。

幼いころから、仁太郎の「人生の主題」



薬師如来と宝珠



登り龍と下り龍を随える薬師如来

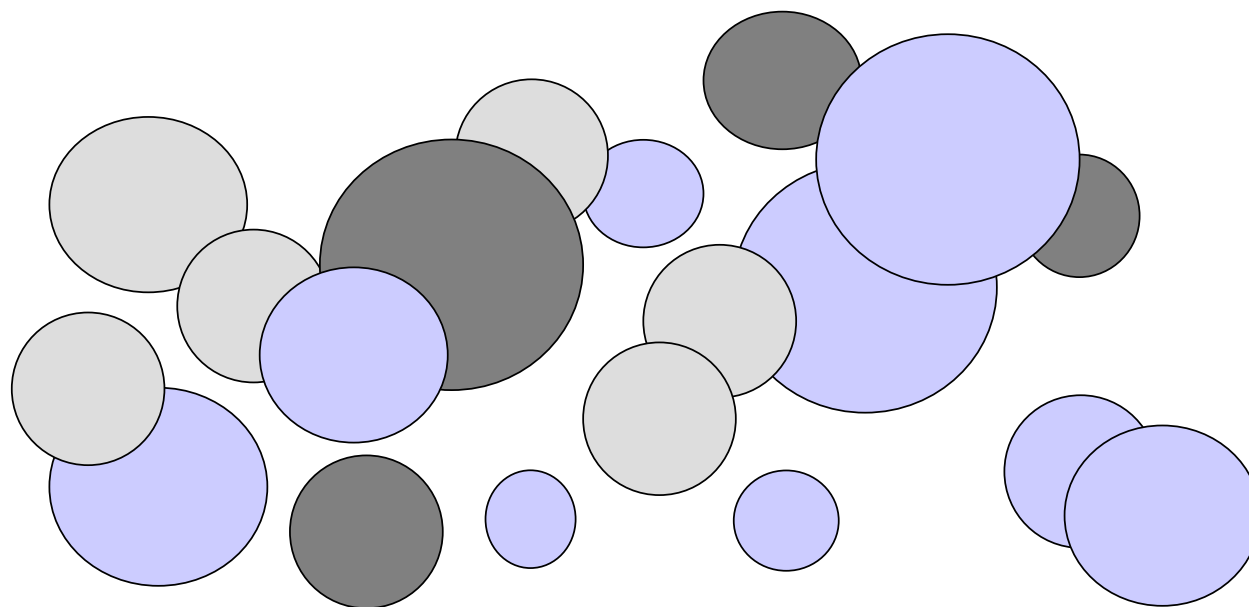
赤玉石も、
ガラス戸の棧の 四隅の
猪の目も、

魔除け＝ 結界の番人



結論

物理的に周囲に結界を張るというのではなく、
多くの結界のそれぞれの力を合わせて願う、という
気持ちではないか。



この多くの霊的仕掛け、パワースポットのな
シンボルを屋敷中、庭園、離れに配置し、
結界を張ることで、血縁、地縁、社縁に連なる
全ての人々を、守護する。

これが、機那サフラン酒本舗の屋敷に、
満ち満ちている「秘密」である。

